

# まがりご

5 5 3 3 3 3 1 1 1 0  
 タ ラウ サン ガ カ ク ラ ネ タ

3 3 1 1 1 1 6 6 6 5 6 5 1 2 3 1 2 3 6  
 ジ ラウ サン モ カ ク ラ ネ タ マ カ リ ガ ア ド デ ブ ツ カ ツ

節ラックメ音葉ノマ

5 0 5 5 5 6  
 タ 次郎サンごめんない 太郎サンごめんない ゴメンナ

5 3 6 6 1 5 0 1 7 6 5 3 6 5 2 1 0  
 サイ ガ ブ ツ カ ツ ラ リ ヤ ウ ハ ウ イ ツ シ ョ ニ ハ ツ ハ ツ



まがりかど

土室倉  
川崎橋  
五琴惣  
郎月三  
振曲歌

此の遊戯は平列でも圓形でも出来る様に作られて居ります、そして二人づつ向き合ふてから始めます。

太郎さん……………體前にて拍手（上より打ち下ろす）と同時に後ろ向きとなるが……………前方を見て右食指にて其方を指す。

かけてきた……………駄け足（小足）五歩にて止まる。  
次郎さん……………體前にて拍手と同時に後ろ向き（向き合ひとなる）。

も……………相手の方を指す（前方）  
かけてきた……………前と同じく駄足五歩元の列に

復す。

まあがり……………左足を右足の右へ送りて右回轉す。

かあ……………右手と右手と打ち合ふ

どで……………左手と左手と打ち合ふ

ぶつかつた……………互に自分の額に兩手をあて、直ちに兩側を下ろす。

次郎さん　ごめんなさい……………内側の列を太郎、外側の列を次郎と豫め定め置き、太郎側の子供は

じろさんごめんなさいと云ひてお辭儀をなす。同時に次郎側も同じくおじきをなす。

太郎さん、ごめんなさい、次郎側の子供は、たろさんごめんなさいと云ひておじき、太郎側も同じくおじきをなす、伴奏のリズムに會ふ様に詞を發す。

ごめんな……………右足を後ろに引き左膝を屈し兩手を後手に伸ばし上體の前屈を行ふ。

さいが……………右足を左足に揃へ直立し二回拍手す。

ぶつか……………初め兩腕を屈し兩手を前上方に突き上げて相手と兩手を合す。

て……………尙一回兩手を前上方に突き出して合せらる。

りやうはう……………二人兩手を軽く取り合ひ、左方へ振り更に右方に振る(太郎の左方次郎の右方へ振り、更に太郎の右方、次郎の左方に振る事となる)

いつしよに……………同じことを繰返す。

ハツハツバ……………太郎の左、次郎の右へ兩手を高くあげ、上體を其方に傾け太郎は右上方次郎は左上方に顔を向け(頭を兩手の上がる方に傾ける事となる)。太郎は右足を右方にあげて伸ばし、次郎は左足を左方にあげて伸ばし、反對の足にて三回軽く跳躍す

以上十八名の諸君は新に幼稚園姆保として何れも活動せられることになつた。幼稚園令が漸く發布せられ我が國幼稚園教育が一新機運を劃すべき時に十八名の諸君が出で、活動せられることは國家教育のため誠に慶賀すべきことである。

大正十五年度保育實習科は志願者九十五名中僅かに二十五名を選拔せられ新に入學せられた譯である。(四六頁より)